

2008年7月4日

上程数: 31



CD-41938

METIER

(GB)

入荷予定

Brian Ferneyhough (GB:1943-)(ブライアン・ファーニフ)

「CHORAL MUSIC」 合唱作品集

MISSA BREVIS: Kyrie-Gloria-Sanctus-Benedictus-Agnus Dei,
THE DOCTRINE OF SIMILARITY: Amphibolies I-Dust to Dusk-Cannot Cross-Motetus absconditus-A
mphibolies II-But even fire is light-Sometimes-Anagrammatica-Dew and Die-Schein-Dusts to Dusks-A
mphibolies III-Salute,
TWO MARIAN MOTETS: Ave mater gloriosa salvatoris Alma redemptoris Mater,
STELAE FOR FAILED TIME.

BBC SINGERS + LONTANO
CONDUCTED BY ODALINE DE LA MARTINEZ

- New Release 新譜 -



CD-41597

STRADIVARIUS

(I)

入荷予定

「Percussion Masterpieces」 パーカッション・マスターピース

スティーヴ・ライヒ(1936-):ドラミング(1971)
カルロス・チャベス(1978):タンブーコ[Tambuco](1964)
カールハインツ・シュトックハウゼン(1928-2007):ツィクルス(1959)
ジョン・ケージ(1912-1992):サード・コンストラクション(1941)
エドガー・ヴァレーズ(1883-1965):イオニザシオン(1931)

レナート・リヴォルタ(指揮), イ・ペルクッシオニスティ・デラ・スカラ
I Percussionisti della Scala, Renato Rivolta

- New Release 新譜 -



CD-41588

Phaedra

(B)

入荷予定

「DARKNESS」 ダークネス
In Flanders' Fields vol. 53

ヘンリック・グレッツキ (1933 -): 木管五重奏、トランペット、トロンボーン、弦楽四重奏、チャイムとピアノのための
《小レクイエム》/
アンドレ・ラポルト(1931-): ルート、バス・クラリネット、ヴァイオリン、ヴィオラ、打楽器とピアノのための《リタニ
ー・コン・エピフィオ》/
ステファヌ・ヴァンデ・ギンステ (1971 -): 木管五重奏、トランペット、トロンボーン、弦楽四重奏、打楽器、ピ
アノと2人のナレーターのための《ダークネス》

エマーノン・アンサンブル Emanon Ensemble

“作曲家”ではなくフランドルの“演奏家”にスポットをあてた“In Flanders' Fields”の第53集。管・弦・打楽器を
中心とするエマーノン・アンサンブルは、フランドルの作曲家たちの新作初演を数多く手懸けるベルギーの室
内楽団。個々の高い演奏技術と自在に編成を組み替えることのできる柔軟性を持っており、作曲家たちから
は厚い信頼を受けている。グレッツキの「小レクイエム」で聴かれるアンサンブル能力の高さも一級品。

- New Release 新譜 -



Iannis Xenakis (R:1922-2001)(ヤニス・クセナキス)

「クセナキス:鍵盤楽器のための音楽」
コンピュータ制御によるピアノおよびハープシコードのための作品集

- ①ヘルマ〜ピアノのための(1961)
- ②ミスツ(霧)〜ピアノのための(1981)
- ③コアイ〜ハープシコードのための(1976)
- ④エヴリアリ〜ピアノのための(1973)
- ⑤ナーマ〜ハープシコードのための(1984)

ダニエル・グロスマン(MIDIプログラミング)
制作:2005-2008年

クセナキスの超絶技巧鍵盤作品をコンピュータ制御により完全再現!作曲者の理想に最も近づいた!?
鍵盤楽器のための作品に限ったことではないが、クセナキスの音楽は時に人間の限界を超えよと言わんばかりの超絶技巧と集中力を演奏者に要求する。こうして人の手によって再現された音楽は、神がかりともいえるほどの異様な気迫とエネルギーを生み出す。しかし、ではそれらの演奏が完璧に楽譜を再現しているのかと言えば、必ずしもそうとは言えない。これは人の手では複雑すぎて再現しきれない楽譜の細かい指定までも全てコンピュータ制御で忠実に再現した初めての試み。これからのクセナキス演奏の新基準となるだろう。

CD-41548
NEOS
(D)
入荷予定



Robert Hp Platz (D:1951-)(ロベルト・HP・プラッツ)

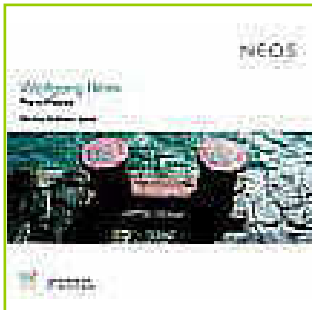
「ピアノ作品集」

- ピアノ曲第1番《道》(1981)/
- ピアノ曲第2番(1984)*
- ピアノ曲第3番(1988)/
- ピアノ曲第4番《〜の上》(1997/98)/
- ピアノ曲第5番《帆の下》(2007)

ロルフ・ハインド(Pf)
*SWR実験スタジオ(テープ)
録音:2007年

シュトックハウゼンの弟子プラッツのピアノ作品集
フォルトナー、シュトックハウゼンに師事したプラッツは指揮者、現代音楽の名教師として度々来日している。彼の音楽はセリー音楽の延長線上にあり激しく点描的。ピアノ曲第2番ではテープ音響も入る。プラッツは今日の前衛音楽の正統的(?)継承者と言えよう。

CD-41549
NEOS
(D)
入荷予定
SACDハイブリット*



Wolfgang Rihm (D:1952-)(ウオルフガング・リーム)

「ピアノ作品集」

CD1)

1970年代の作品

ピアノ曲第1番、第2番、第4番、第5番《トンボー》、第6番《バガテル》、レントラー

CD2)

1980年代以降~最新作まで

ピアノ曲第7番、《ブラームスの愛のワルツ》、《調査の後》、《ニヶ国語》、《別のシート》、《二つの小さい振動》、《無言》

マルクス・ベルハイム(Pf)

録音:2007-2008年

ヴォルフガング・リームのピアノ作品集!初期作品から近作まで

500曲を越える多作家として知られるリームの多様な作風を作曲年代順に俯瞰する最適なアルバム。10代後半のピアノ曲第1番から最新作《無言》まで収録。ピアノのベルハイムはリームの他、クルターク、リゲティ、ライヒなど様々な現代音楽を演奏しているスペシャリスト。

2CDs-41550

NEOS

(D)

入荷予定



Luigi Nono (I:1924-90)(レイジ・ノーノ)

「2 Works」

①「冷たい怪物に気をつける」(1983)

~M.カッチアーニのテキストによる2つのフルート、クラリネット、チューバ、ヴィオラ、チェロ、コントラバスとライブ・エレクトロニクスのための

②「死の間近な時 ポーランド日記第2番」

~4人の女声、バス・フルート、チェロとライブ・エレクトロニクスのための

①ノア・フレンケル(A)、ズサンネ・オットー(A)、ロベルト・ファブリチアーニ(FI)、エルネスト・モリナーリ(CI)、クラウド・ブルガー(Tuba)、スーザン・ナイト(Va)、クリスティーネ・トイス(Vc)、ウルリヒ・シュナイダー(Cb)

②ハイケ・ハイルマン(S)、ペトラ・ホフマン(S)、アレクサンドラ・ルプチャンスキー(S)、ズサンネ・オットー(A)、ロベルト・ファブリチアーニ(FI)、クリスティーネ・トイス(Vc)

①②アンドレ・リシャール(指揮)SWR実験スタジオ(ライブ・エレクトロニクス)

録音:2007年1月SWRハンス・ロスバウト・スタジオ,バーデンバーデン

ノーノの重要作品2曲がSACDで一挙リリース!!

いずれも1980年代に作曲されたアンサンブルとライブ・エレクトロニクスのための作品でノーノの代表作。SACDによりライブ・エレクトロニクスの音質が飛躍的に向上、作品の意図をより明確に、よりリアルに伝える出来となっている。クラリネットのエルネスト・モリナーリ、フルートのロベルト・ファブリチアーニらノーノと縁の深かった名手たちによる演奏。

2CDs-41551

NEOS

(D)

入荷予定

SACDハイブリッド

Marijn Simons (NL:1982-) (マレイン・シモンズ)

「Secret Notes」 シークレット・ノーツ

4 works

シークレット・ノーツ

ヴァイオリン協奏曲第2番「シークレット・ノーツ」Op.19(*)

A Ti Te Toca (2台のピアノと管弦楽のための) Op.23(+)

交響曲第1番 Op.26(#)


マレイン・シモンズ(ヴァイオリン(*))、ジェイムズ・マクミラン(指揮(*))、オランダ放送室内管弦楽団(*)
アンナ & イネス・ヴァラホフスキ(ピアノ(+))、マルクス・R・ボッシュ(指揮(+))、アーヘン交響楽団(+)
マルティン・ジークハルト(指揮(#))、アルンヘム・フィルハーモニー管弦楽団(#)

録音:2005年2月、オランダ、ユトレヒト、フレーデンプルフ音楽センター(*)

2004年12月、ドイツ、アーヘン、エウログレス(+)

2005年4月、オランダ、ネイメーヘン、デ・フェレーニヒング(#)

4歳で作曲を始め10歳で最初の弦楽四重奏曲を完成させた天才にして、ヴィルトゥオーゾ・ヴァイオリニストとしても知られるオランダのマレイン・シモンズ。その二つの才能を共同させた(*)は指揮者エサ・ペッカ・サロネンの委嘱により作曲され、2002年にシモンズのソロ、サロネン指揮ロサンゼルス・フィルハーモニック・ミュー・ミュージック・グループにより初演されました。(+) (#)は初演を収録したもの。(+)のタイトルはスペイン語で「今度は君が弾く番だよ」という意味だそうです。

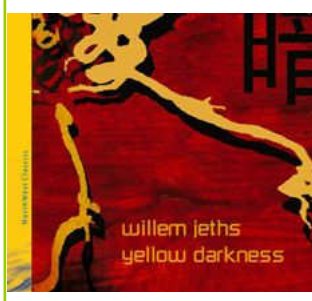


CD-41536

Northwest Classics

(NL)

入荷予定



2CDs-41534

Northwest Classics

(NL)

入荷予定

SACD

「Yellow Darkness」イエロー・ダークネス
ウィレム・イエッツ Jeths (1950-):

クラリネット協奏曲「イエロー・ダークネス」(2005)(*)
Seanchai - an afterimage(管弦楽のための;2004)(+)
Meme(2つのヴァイオラとアンサンブルのための;2004)(#)
Ombre Cinesi(管弦楽のための;2005)(**)
バンドネオンと弦楽合奏のための協奏曲(2001)(++)
Throb(管弦楽のための;1995/2003改訂)(##)
Falsa/Ficta(チェロと管弦楽のための;1999)(***)

Jeths: Yellow Darkness / Lars Wouters van den Oudenweijer,

Susanne van Els, Nobuko Imai, Per Arne Glorvigen, Jan Hage,
Frances-Marie Uitti, Marc Soustrot, Bernhard Klee, Reinert de Leeuw,
Jurjen Hempel, Roy Goodman, Brabant Philharmonic Orchestra,
Arnhem Philharmonic Orchestra, Schonberg Ensemble

ワイヤー(クラリネット(*))
ヤン・ハーヘ(オルガン(##))
フランセス=マリー・ウイッティ(チェロ(***))
マルク・スーストロ(指揮(*/**/##))
ロイ・グッドマン(指揮(***))
ブラバンド・フィルハーモニー管弦楽団(*/**/##/***)
ペール・アルネ・グルールヴィーゲン(バンドネオン(++))
ベルンハルト・クレール(指揮(+))
ユリエン・ヘンペル(指揮(++))
アルンヘム・フィルハーモニー管弦楽団(+/**/##/***)
スサンネ・ファン・エルス、今井信子(ヴァイオラ(#))
ラインベルト・デ・レーウ(指揮(#))
シェーンベルク・アンサンブル(#)

録音:2005年4月9日(*), 2006年9月8日(**), 2005年2月26日(##)、
オランダ、アイントホーフェン、フリッツ・フィリップス音楽センター(*/**/##)
2004年6月11日(+), 2003年11月9日(++),
オランダ、アルンヘム、ムジス・サクルム(+/**/##)
2006年4月30日、アムステルダム、ムジークヘボウ aan't IJ(#)
2005年1月21日、
オランダ、ネイメーヘン、コンセルトヘボウ・デ・フェレーニヒング(***)ラルス・ワウタース・ファン・デン・ア
ウデン

オランダの作曲家イエッツの、当レーベルからは2枚目となる作品集(前作:NWC202090)。



CD-41537
Northwest Classics
(NL)
入荷予定

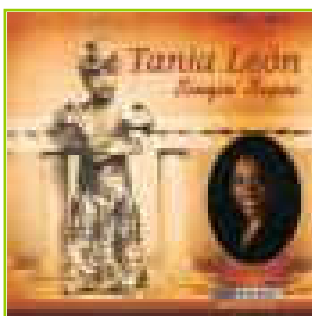
「サウンドスケイプ」

ザゴートンバーグコンボ、2つのギターのための音楽を弾く
ザゴートンバーグコンボ:エヴリシングズ・オールライト・フォーエヴァー(2006)
ペーテル・ハンセン:12=ストリング・ヌーン(デュアン・オールマン・イン・メモリアム;2004)
アンドレアス・エクレーフ:フライデー(2005)
スティーヴ・ライヒ/デイヴィッド・タネンバウム編曲:ナゴヤ・ギターズ(1994/1996,1998)(*)
スティーヴ・ライヒ:フェイズ(1967)
フレデリク・ベリストレーム:ザ・コンボ・ソング(2002)

ザゴートンバーグコンボ
ダヴィド・ハンソン、トーマス・ハンシー(ギター)

録音:2006年11月、スウェーデン、ユウラ教会

2000年に結成されたスウェーデンのザゴートンバーグコンボ(「イェーテボリのコンビ」の意)は、インターネットで公開されている動画(例*)が日本のギター・ファンの間でも話題となるなど、今世界で最も注目を集めているギター・デュオのひとつです。



CD-41519
BRIDGE
(USA)
¥2415-

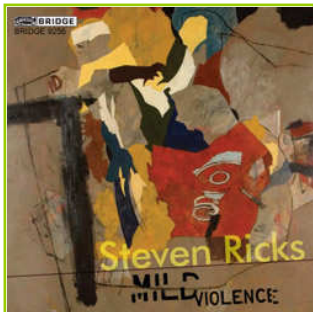
Tania Leon (C:1943-)(タニア・レオン)

「6 works」作品集

①バイラリン(1998)/②シンギン・セピア(1996)/③軸索(2002)/
④アレナス・ドゥン・ティエンポ(1992)/⑤サティネ(2000)/⑥日の出(1999)

①デイヴィッド・スタロビン(G)
②コンティヌウム(ソプラノとクラリネット、ヴァイオリン、四手ピアノのアンサンブル)
③木村まり(Vn)
④スペクルム・ムジケ
⑤クアトロ・マーニ(ピアノ・デュオ)
⑥ペーター・ルジツカ指揮北ドイツ放送交響楽団

タニア・レオンはキューバ生まれの女性作曲家。このアルバムでは無伴奏の器楽から大管弦楽のための作品まで幅広く収録されています。①はノスタルジックなわかりやすいギター小品。②はリズムミク部分もありますが、基本的に無調で静謐な歌曲。③は木村まりが開発したヴァイオリンの音域外の低音を出す「サブハーモニック奏法」を駆使した難曲。⑥はザルツブルグ音楽祭の芸術監督も務めたことのある作曲家ルジツカの指揮によるもので、硬派な無調音楽。ラテンのノリなど求めてはいけません。



CD-41523
BRIDGE
(USA)
¥2415-

Steven Ricks (USA:1969-) (スティーヴン・リックス)

- New Release 新譜 -

「Mild Violence」マイルド・ヴァイオレンス:作品集
6 works

- ① Boundless Light 無限の光(2003) fl + electronics / ② Mild Violence 穏やかな暴力(2005)/
③ American Dreamscape アメリカの夢のような情景(アメリカン・ドリームスケープ)(2005) altsax, perc, pf, c
b + electronics/
④ Dividing Time 隔てられた時間(2000) / ⑤ Beyond the Zero ゼロを超えて(2005) vn + electronics/
⑥ Haiku 俳句(2006) perc (solo) + electronics

- ① Carlton Vickers, flute / ② New York New Music Ensemble, James Baker, conductor
③ John Sampen, alto saxophone, Ron Brough, percussion, Scott Holden, piano, Eric Hansen, contraba
ss, Steven Ricks, conductor / ④ Talujon Percussion Quartet / ⑤ Curtis Macomber, violin
⑥ Dominic Donato, Tibetan prayer bowls and tam tams

- ①カールトン・ヴィッカーズ(fl) / ②ニューヨーク・ニュー・ミュージック・アンサンブル /
③スティーヴン・リックス指揮、ジョン・サンペン(アルトsax)、ロン・ブロー(Perc)、他
④タルジョン打楽器四重奏団 / ⑤カーティス・マコンバー(Vn) / ⑥ドミニク・ドナート(Perc)

「マイルド・ヴァイオレンス(テレビ・ゲームのR指定基準の言葉)」などという奇妙なタイトルのこのアルバムは、1969年生まれのスティーヴン・リックスの作品集です。リックスははじめトロンボーンを学び、イリノイやユタで作曲を学んだ後、ロンドンのキングズ・カレッジでバートウィッスルに学びました。作風はジャズ風なものどライブ・エレクトロニクスを多様したものが多くようです。①は仏教の神秘的なものに影響を受けたものだそうですが、尺八のようなフルートとコンピューターによるノイズが不思議な雰囲気をかもし出しています。



CD-41515
STRADIVARIUS
(I)
品切

Giacinto Scelsi (I:1905-88) (ジャチント・セルシ)

- New Release 新譜 -

「Collection Vol.4」コレクション Vol.4:初期のピアノ音楽
Early Piano Music

Rotativa(1934)/12の前奏曲(1940)/変奏曲とフーガ(1940)/カプリッチョ(1930)/4つの詩(1939)

Donna Amato ドンナ・アマート(ピアノ)



CD-39892
KARONTE
(E)
¥2520-

Angel Illarramendi (E:1958-) (アンヘル・イリャラメンディ)

- New Release 新譜 -

「Symphony No.7」交響曲第7番(2007)

Wojciech Rodek, Warsaw Philharmonic Orchestra & Choir
ヴォイチェフ・ロデク(指揮)
ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団&合唱団

録音:2007年10月、ワルシャワ国立フィルハーモニー・コンサートホール

映画音楽の分野でも名高いスペイン、バスク地方出身の作曲家イリャラメンディが50歳を前に書き上げた第7交響曲。単一楽章作品ですが全体は3つの部分に分かれています。印象的なヴァイオリン・ソロに始まり、弦楽が奏でる物悲しく息の長いテーマ、それを発展させる形で金管中心に奏されるバッハのオルガン作品のようなフーガ風楽節、意味を持たない「Eneritza」という唯一の歌詞をテーマ旋律に乗せて繰り返し歌う合唱、映画のクライマックス・シーンを思わせる緊迫した終盤まで、一気に聴かされてしまう作品です。収録時間が38分と短い価格がわずかですがお安くっております。

- New Release 新譜 -

Michael Levinas (F:1949-) (ミシェル・レヴィナス)

「歌劇《Les Negres 黒んぼたち》」

ウェンディ・ウォラー(ソプラノ)、ボニタ・ハイマン(メゾソプラノ)、
コレントン・フリーマン(テノール)、モーリーン・ブレイスウェイト(ソプラノ)、
ベルンハルト・コンタルスキー(指揮)、スイス・ロマンド管弦楽団、ジュネーヴ歌劇場合唱団、他
Kontarsy (con)、Orchestra de la Suisse Romande

高名な倫理学者のマニュエル・レヴィナスの息子であり、ピアニストとしても世界的に高く評価されているミカエル・レヴィナス。作曲家としてはIRCAMのメンバー、「スペクトル楽派」の中心人物として知られており、現代フランスを牽引する作曲家の1人に位置づけられている。レヴィナスの「黒んぼたち」とは、同じくフランスの作家ジャン・ジュネの同名の物語を題材として作曲された全3幕のオペラ。序曲での強烈なリズム感や、声楽、楽器の使い方による音響変化が非常に特徴的な音楽を形成させている。



2CDs-39469

SISYPHE

(F)

¥4410-

- New Release 新譜 -

「Piano and Electronic Sounds」ピアノ & エレクトロニック・サウンド

5 works: Harvey / Cage etc

ジョナサン・ハーヴェイ:メシアンの墓

ジョン・ケージ:カリヨンのための音楽第2番、同第3番

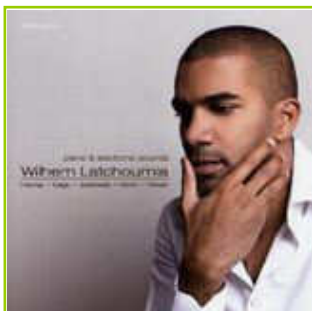
ピエール・ホドロフスキ:セリー・ブランシェ、セリー・ノワレ

リュク・フェラーリ:失われたリズムを求めて

レイジ・ノーノ:苦悩に満ちながらも晴朗な波

Latchoumia(p) ウィルヘルム・ラチュウミア(ピアノ)

ウィルヘルム・ラチュウミアは、リヨン国立高等音楽院でゴールド・メダル、1等賞を獲得するなど優秀な成績を収めた1974年生まれのパイニスト。コンテポラリーの分野に対する姿勢は高い評価を受けており、第12回ハビエル・モンサルバーチェ国際コンクールなど多くのコンクールで優勝を果たしている。ここでもピアノとテープの融合の可能性を追求するなどその姿勢は徹底されている。



CD-39470

SISYPHE

(F)

¥2520-

- New Release 新譜 -

Kenneth Leighton (GB:1929-88) (ケネス・レイトン)

「Orchestral Works vol. 1」管弦楽作品集Vol.1

3 works

弦楽のための交響曲 Op.3

オルガン、弦楽オーケストラとティンパニのための協奏曲 Op.58

弦楽オーケストラのための協奏曲 Op.39

ジョン・スコット(オルガン)、

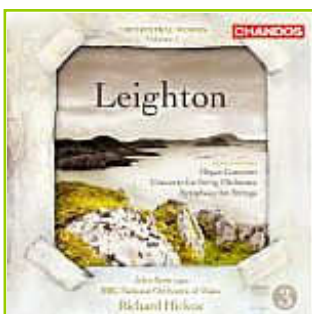
リチャード・ヒコックス(指揮)、BBC ナショナル・オーケストラ・オヴ・ウェールズ

Scott(org)、Hickox(con)、BBC National

Orchestra of Wales

ハイペリオンから教会音楽集(CDA67641)がリリースされるなど、再評価が進み始めたケネス・レイトン。ロマンティズムと12音技法の両立を目指した戦後のイギリスを代表する作曲家の

1人であるレイトンの管弦楽作品集は、世界最強のイギリス音楽の達人ヒコックスの指揮で計2タイトルのリリースが予定されている。今回収録された3作品はいずれもシャンドスならではの貴重な音源である。



CD-39467

CHANDOS

(GB)

¥2520-

- New Release 新譜 -



Jonathan Dove (GB:1958-)(ジョナサン・ドーフ)

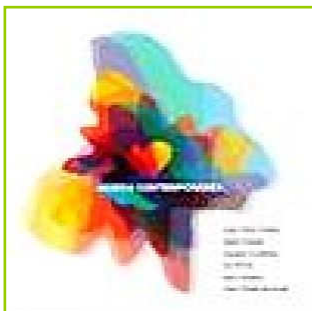
「Siren Song」 室内オペラ《セイレーンの歌》(世界初録音)
chamber opera

ブラッド・クーパー(テノール)、マタイス・ファン・デ・ウォールト(バリトン)、アマリス・ディールティエンス(ソプラノ)、
ヘンク・ギユイタルト(指揮)、セイレーン・アンサンブル
Guittart(con) etc, Siren Ensemble

歌劇「フライト」(CHAN10197)など斬新な作品の発表を続けるイギリス人作曲家ジョナサン・ドーフの最も有名な室内オペラがこの「セイレーンの歌」。「セイレーンの歌」はドーフがコンポーザー・イン・レジデンスを務めているアムステルダム運河フェスティバルで2007年8月に初演が行われており、今回のリリースはその世界初演時のライブ録音となる。

CD-39468
CHANDOS
(GB)
¥2520-

- New Release 新譜 -



「Contemporary Music」 ポルトガル新音楽集
Oliveira, Soveral, Zoudilkine, Penha, Carvalho

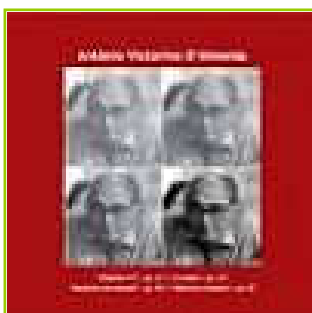
ジョアン・ペドロ・オリヴェイラ:メールストロム[Maelström;渦]2006 - cim + electronics (*),
イザベル・ソヴェラル:秋の記憶 第3画[Mémoires d'Automne - Tableau III] 2006 bsfl + electronics (+),
エフゲニー・ズディルキン:コーダ・ピアニッシモ[Coda pianissimo]-ヒンデミットへのオマージュ 2006 (#),
ルイ・ペニャ:カルシナツィオ[Calsinatio] 2006 chamber ens. + electronics (**),
サラ・カルヴァーリョ:月はその名を失った[The moon lost her name] 2005 - vn (++),
ジョアン・ペトラ・オリヴェイラ・バクラタ:神秘の庭園[Mystic Garden] 2007 fl, acc, pf + electronics (##)

エニケー・ギンゼリ(ツインバロン(*))
ジョルジェ・サルガード・コッレイア(バスフルート(+))
アルヴァロ・テイシェイラ・ロペス(ピアノ(#))
モメントウム・アンサンブル(**)
カンノ・ミエコ(ヴァイオリン(##))

録音:2007年2、5月、ポルトガル、アヴェイロ大学コミュニケーション&アート学部

CD-39465
NUMERICA
(P)
入荷予定

- New Release 新譜 -



Antonio Victorino D'almeida (P:1940-)(アントニオ・ヴィクトリーノ・ダルメイダ)

「Orchestra Music」 4作品:管弦楽
4 works

Symphony No.1 交響曲第1番 Op.21(*)
Jew ユダヤ人 Op.34(+)
Memories of Amanha アマニャンの思い出 Op.99(#)
Classical Overture 古典的序曲(**)

アントニオ・ヴィクトリーノ・ダルメイダ(指揮(*/**))
ブルガリア交響楽団(*)
リンツ・ブルックナー管弦楽団(**)
アルヴァロ・カースト(指揮(+/#))
ポルトガル新フィルハーモニー管弦楽団(+)
ポルトガル交響楽団(#)

CD-39466
NUMERICA
(P)
入荷予定

- New Release 新譜 -



Tomas Marco (E:1942-)(トマス・マルコ)

「Segismundo [To Dream the Dream] (2003)」 ポケット・オペラ「セヒスムンド(夢を夢見る)」

David Azurza, Manuel Galiana, Actors, Jose Luis Temes, Instrumental Soloists

ダビード・アズルサ(カウンターテナー:セヒスムンド)

マヌエル・ガリアーナ(「洞窟の伝説」の声)

エレナ・ドウエニャス、ホルヘ・メリーノ、ギリエルモ・アマヤ(俳優)

ペドロ・アリエーロ(シンセサイザー)

フアン・カルロス・フェリーペ(クラリネット)

ラモン・ロメーロ(チェロ)

フアン・カルロス・ペルーフォ(打楽器)

ホセ・ルイス・テメス(指揮)

録音:2003年7月、スペイン、マドリード県ラス・ロサス、セザンヌ・プロダクション・スタジオ

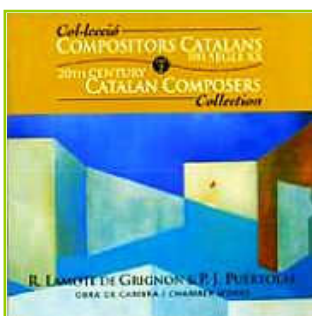
CD-39463

VERSO

(E)

¥2520-

- New Release 新譜 -



「20th Century Catalan Composers」 20世紀カタルーニャの作曲家たち Vol.2

Chamber Works

リカルド・ラモーテ・デ・グリグノン(1899-1962):かけら(管楽五重奏のための)(*)

ペレ・ジュゼプ・プエルトラス(1949-):パンタ・レイ(弦楽三重奏のための)

六重奏曲 Op.49(フルート、クラリネット、ファゴットと弦楽三重奏のための)(*)

リカルド・ラモーテ・デ・グリグノン:トッカータ(フルート、オーボエ、クラリネットと弦楽五重奏のための)(*)

クリスティアン・ファローニ、ベア・カンブリルス(フルート)

ディサ・イングリッシュ(オーボエ)ラリー・パッシン(クラリネット)

シルヴィア・コリセッリ(ファゴット)デイヴィッド・B・トンプソン(ホルン)

ヨゼフ・トポルセル、マリア・ジョゼ・アスナール(ヴァイオリン)

ジュニファー・スタール(ヴィオラ)ジョゼ・モール(チェロ)

ジョナサン・カンパス(コントラバス)

アルフォンス・レベルテ(指揮)(*)

録音:2006年1-2月、バルセロナ、スタジオ・テディサウンド

Lamote de Grignon, Puertolas:

CD-39460

COLUMNA MUSICA

(E)

¥2625-

- New Release 新譜 -



「Flauto con forza」フルート・コン・フォルツァ

アーネ・メルネス(1933-2002):

フルートと打楽器のための《ランデヴーII》、フルートと室内オーケストラのための《親しい戯れ》

パール・モッテンソン(1967-):アルト・フルートとエレクトロニクスのための踊りとセンチメンタルな歌、フルート協奏曲/

アンドレ・シーニ(1945-):イカレガ、マドリードのための沈黙の音符

アンデシュ・ユーンヘル(フルート)、ダニエル・ヌーベリ(打楽器)、

ピエール=アンドレ・ヴァラード(指揮)、

ヘルシングボリ交響楽団、ヨーテボリ交響楽団、アンサンブル・ガゲーゴ!、他

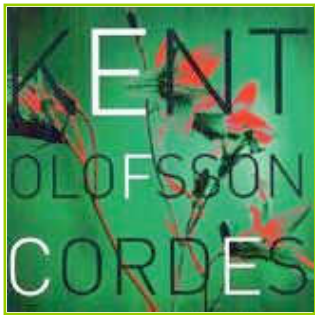
1996年からヨーテボリ交響楽団のフルート奏者を務めソリストとしても活発な活動を展開しているフルーティスト、アンデシュ・ユーンヘルによるフルートのための現代スウェーデン作品集。このアルバムはユーンヘルのものである今は亡きマヌエラ・ヴィースラーに捧げられている。

CD-39458

PHONO SUECIA

(S)

¥2573-



CD-39457
PHONO SUECIA
(S)
¥2573-

Kent Olofsson (S:1962-)(ケント・オーロフソン)

「Cordes」 コルド

ギタリストと管弦楽のための《弦》/独唱、二重合唱、アンサンブルとエレクトロニクスのための《鐘》

ステファン・オステルシェー(チャランゴ、エレクトリック・ギター、バンジョー)、マリオ・ヴェンツァーゴ(指揮)、ヨーテボリ交響楽団、ヴォーカルハルモニン、他

ケント・オーロフソンは、“ギター”だけに特定せず、チャランゴやバンジョー、エレキ・ギターを持ち替える“ギタリスト”にスポットあてた「弦(コルド)」などの独創的な作品によって世界的な名声を獲得し始めた現代スウェーデンの作曲家である。

- New Release 新譜 -



2CDs-39447
Ensemble Modern
(D)
¥2520-

「ヘルムート・ラッヘンマン / リヒャルト・シュトラウス」

CD1)

ヘルムート・ラッヘンマン:アウスクラング(終焉)~ピアノと管弦楽のための(1984-85)

CD2)

リヒャルト・シュトラウス:アルプス交響曲

マルクス・シュテンツ指揮、アンサンブル・モデルン・オーケストラ

ウエリ・ヴィゲット(Pf/CD1)

録音:2005年10月20日(CD1)、2005年9月20日(CD2)、ともにライブ

ラッヘンマンとR.シュトラウス!?妙なカップリングだが、アンサンブル・モデルンがアルプス交響曲をやるということの方が驚き。いつもガリガリ、キコキコと特殊奏法ばかりやらされている鬱憤が溜まってシュトラウスのようによく鳴るオーケストラ曲をやりたくなっただろうか?特に金管パートはやりがいがあるだろう。ラッヘンマン作品は管弦楽とピアノといっても協奏曲ではなく、関係は対等のようにあり、オケとピアノの、ぽつぽつといった禁欲的な音のやりとりが続くと思いきや、突然クラーターの楔が打ち込まれるといった、例によって例のラッヘンマン節である。東洋の書を思わせるモノクロームの響きには凄惨な美しさがある。さてアルプス交響曲だが、現代音楽の名手ばかりがそろったオーケストラがクラシックのしかも華麗なオーケストラ曲を演奏すると一体どうなるかという好奇心をみたしてくれる大変シャープでクリアな名演である。こうした試みは今後もぜひやってもらいたい。

- New Release 新譜 -



CD-39448
Ensemble Modern
(D)
¥2520-

Helmut Lachenmann (D:1935-)(ヘルムート・ラッヘンマン)

「ヌン」

ディートマー・ヴィースナー(Fl),

ウーヴェ・ディエルクセン(Trb),

スコラ・ハイデルベルク

マルクス・シュテンツ指揮アンサンブル・モデルン・オーケストラ

録音:2005年10月20日ライブ

大管弦楽と独奏フルートと独奏トロンボーン、そして混声ヴォーカル・アンサンブルのための大作。こちらもスタティックな音の運びのなかに独自の緊張した時間が続く。管楽器の風奏、ノイズ、プリペアード・ピアノ、などオーケストラを完全に解体した巨大なカオスが延々と広がる。

- New Release 新譜 -

- New Release 新譜 -



Vladimir Genin (RUS:1958-) (ウラディミール・ゲーニン)

「室内楽作品集」

<4 works: chamber music>

- ①2つの流動的なパントマイム付きの間奏曲(ヴァイオリンとピアノのためのトリプティーク)
- ②ラスト・モーメント(X.エヴァンゲリスタの詩によるソプラノ、チェロとピアノのための7つの歌)
- ③オ・デュオ・オ...(チェロとヴァイオリンのための)
- ④ダブル・エスプレッツ・プラス(ヴァイオリン、チェロとピアノのための)

CD-39446

RCD

(RUS)

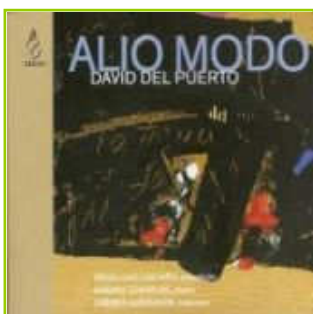
¥2520-

- ②タチアナ・クインジ(Sop)、
- ①③④タチアナ・ユーリエワ(Vn)、
- ②③④アルセニー・コトリアレフスキー(Vc)、
- ①②④ウラディミール・ゲーニン(Pf)

録音:2007年

ゲーニンはロシアの中堅世代に属する作曲家で、いわゆるヨーロッパの前衛音楽世代とは大きく異なる。調性、無調、旋律、民族音楽などを折衷させつつ独自のロマン的な音楽を作る。時にシュニトケ、ヘンリー・カウエル、アラン・ホヴァネス、佐藤聡明を思わせ、アイデアも大変興味深く、ECMが好みそうな作曲家である。

- New Release 新譜 -



David Del Puerto (:1964-) (ダビード・デル・プエルト)

「Alio Modo」 アリオ・モード (作品集)

- アリオ・モード(2002)(*) / アコーディオンのための幻想曲(2005)(+)
- 子供たちのためのノート(2004)(*) / 日記(2001)(*) / (+)
- イントラータ(1995)(*) / ロンド(2004)(*) / 喜べ[Rejoice](1999)(*)
- 夜について(2003)(#) / (+) / 詩句 IV(1996)(*)

CD-39422

TRITO

(E)

¥2573-

Ananda Sukarlan, Angel Luis Castano, Carmen Gurriaran

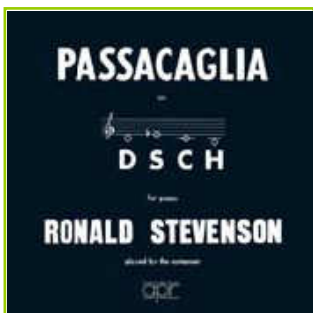
アナンダ・スカルラン(ピアノ*)

アンヘル・ルイス・カスターニョ(アコーディオン(+))

カルメン・グリアラン(ソプラノ(#))

録音:2005、2006年

- New Release 新譜 -



Ronald Stevenson (GB:1928-) (ロナルド・スティーヴンソン)

「Passacaglia on DSCH」

DSCH によるパッサカリア〜ドミトリー・ショスタコーヴィチのために

ロナルド・スティーヴンソン(ピアノ)

R.Stevenson(p)

CD-39421

APR

(GB)

¥2520-

この3月で80歳を迎える1928年ブラックバーン生まれのコンポーザー=ピアニスト、ロナルド・スティーヴンソンの生誕80年記念リリースとなる自作自演集。

1962年に完成した約75分の演奏時間を要する「DSCHによるパッサカリア」は、翌年の1963年に作曲者自身の演奏により南アフリカのケープ・タウンで世界初演が行われたスティーヴンソンの代表作。今回復刻された1964年収録の音源は、当時2枚組みのLPとしてリリースされたものの100セット限定ということもあって入手困難を極めた貴重な録音なのである。伝説的な録音がまた1つ復活を遂げる!

- New Release 新譜 -

Veljo Tormis (GB:1930-)(ヴェルヨ・トルミス)

「Choral Music」 合唱作品集

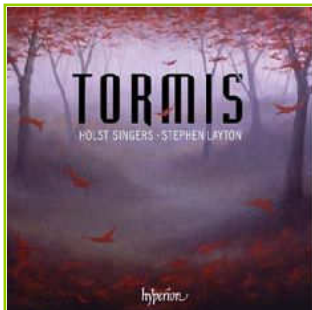
エルンスト・エンノの詩による2つの歌/ 3つのエストニアの遊び歌/ 叙事詩《カレヴィポエグ》による3つの歌/ リーブ語の遺産/ 船上に歌う/ 秋の風景/ 4つのエストニアの子守歌/ 幼き日の思い出

Layton(con), Holst Singers

スティーヴン・レイトン(指揮)、ホルスト・シンガーズ

合唱作品で知られるヴェルヨ・トルミスは、アルヴォ・ペルトと並び、北欧の合唱王国エストニアを代表する巨匠の1人。エストニアの民族音楽の専門家としての一面も持つトルミスは母国に伝わる伝統音楽を作品の礎とするなど卓越した合唱作品を数多く生み出しており、音楽と言葉が密接に結びついたその作品は世界中で親しまれている。トルミスの合唱作品はここ日本でもプロからアマチュアまでの幅広い層で歌われるなど、根強い人気を誇っているだけにハイペリオンからの新しい録音のリリースは広く歓迎されることだろう!

ヴィレッテの合唱作品集(CDA67539)に続いて2度目のタッグとなるレイトン&ホルスト・シンガーズ。レイトンは手兵ポリフォニーとのコンビによるペルトの合唱作品集「トリオディオン」でエストニアの合唱作品に対する造詣の深さを実証しているだけに、今回のトルミスに懸かる期待は大きい。



CD-39420

hyperion

(GB)

¥2520-

- New Release 新譜 -

Bo Linde (S:1939-70)(ブー・リンデ)

「Orchestral Works Vol.2」 管弦楽作品集 Vol.2

陽気な序曲 Op.14(*)

ムジカ・コンチェルト Op.27(1963)(+)

多様な組曲 Op.21(1959)(*)

ブーローニュ組曲 Op.32(1966)(*)

Gavle Symphony Orchestra, Petter Sundkvist,
ヤヴレ交響楽団, (指揮) ペッテル・スンドクヴィスト
録音:2002年19-22日(*), 2003年3月5-6日(+),
スウェーデン、ヤヴレ、Gevaliasalen



CD-39423

Swedish Society

(S)

¥2520-